

3 県民の生命と財産を守る防災・減災対策の推進について

長野県の状況

【国土交通省・農林水産省】

●長野県強靱化計画に基づき「防災・減災対策」を推進

- 近年激甚化する豪雨災害、頻発する大規模地震などに備えるため、**長野県強靱化計画**を策定し、防災・減災対策を推進

取組

- 本県は、**急峻な地形、脆弱な地質**により、古くから大災害に見舞われてきた地域であり、**明治期より防災対策に力を入れてきた**



昭和36年6月中川村

三六災で廃村となった四徳地区



令和元年10月長野市

千曲川堤防決壊



平成29年5月飯山市

砂防堰堤により土石流を捕捉
⇒本砂防堰堤がなければ、下流の人家25戸、J R等に甚大な被害



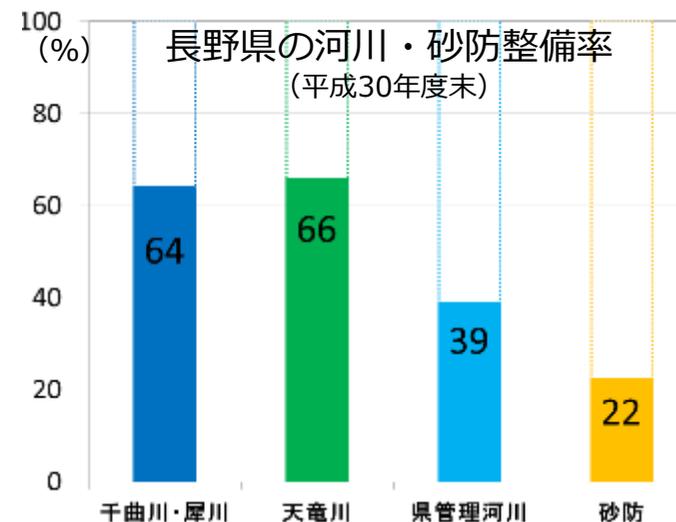
第2期
長野県強靱化計画

【多くの災害から学び、いのちを守る集づくり】

平成30年3月
長野県

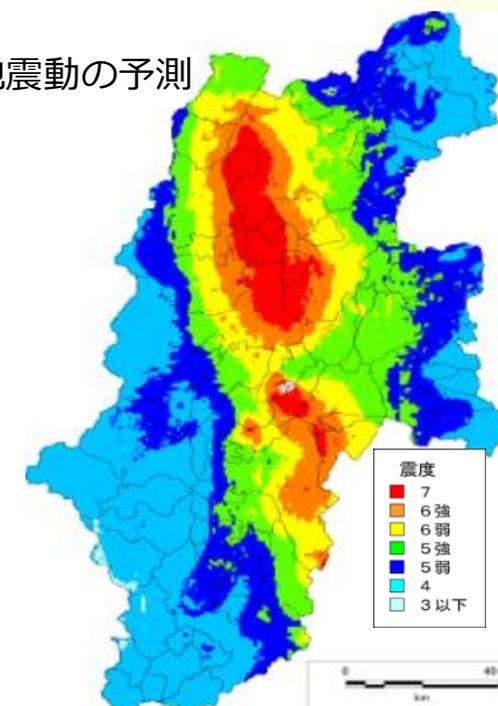
- 現在は、**長野県強靱化計画**（平成30年3月策定）により、**ハード・ソフトをあわせた対策を推進中**
- このうち、ハード対策について**対策箇所5年間の整備目標を公表**しつつ、計画的に対策を実施中
- 令和元年東日本台風災害からの復旧・復興に**着実に取り組むため、「台風第19号災害からの復旧・復興方針」を策定**

⇒被災者の生活再建からインフラの復旧、さらに被災地の復興に向けた取組を提示



千曲川・犀川：直轄完成堤防整備率（長野県内）
天竜川：直轄完成堤防整備率（愛知・静岡含む）
砂防：土石流危険渓流整備率

地震動の予測

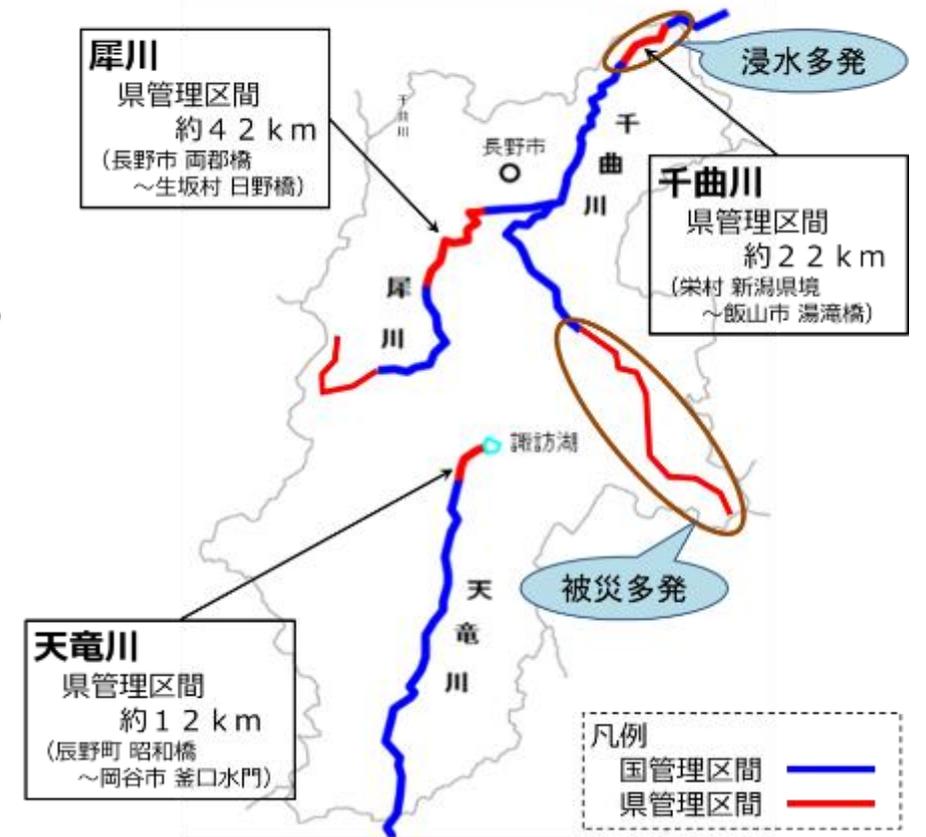


糸魚川静岡構造線断層帯

課題

- 今回大規模な災害が発生した千曲川をはじめ犀川、天竜川について、日常的な河川管理、洪水時の災害対応を的確に行う必要があるが、**国管理区間と県管理区間が混在**（いわゆる中抜け区間）
- 大河川などで、降雨が終わってから時間差で到達する洪水についての**長時間先の予測情報の提供**が必要。また、既存ダムにおける事前放流や流域住民への緊急時の情報伝達を的確に実施するには、**予測精度の向上**が必要
- 被災箇所が膨大なため、市町村は緊急調査に時間を要した。特に町村は**技術職員が不足・不在**のため、**技術的な支援を求める声**が多数
- 降雨を伴わない道路法面崩壊や河岸高5割に満たない出水での河川護岸被災などは、**異常天然現象として認められない**ため、地方単独費での復旧となり、**大きな負担**となっている

「中抜け区間」について



提案・要望

1 防災・減災、国土強靱化の強力な推進

激甚化する豪雨災害や、近年頻発する大規模な地震に対応するため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」終了後も、制度の拡充・要件緩和を行い、国土強靱化地域計画に基づく防災・減災のための予算を継続的に別枠で確保するとともに、国土強靱化緊急対策事業債及び緊急自然災害防止対策事業債と同様の財政措置を講じること

コロナ収束後の経済のV字回復や地域の活力を取り戻すため、景気の下支えとなる公共事業について、安定的かつ持続的に予算を確保をすること

2 千曲川、犀川、天竜川の国による一元管理

(1) 河川整備を促進し、抜本的な治水対策を進めるとともに、洪水時の災害対応を迅速かつ的確に行うため、水系一貫管理の原則に基づき、国管理区間と県管理区間が混在する大河川のいわゆる中抜け区間等について、国による一元管理とすること

(2) 緊急時におけるダムの事前放流や住民への情報伝達を的確に行うために、水系全体における長時間先の洪水予測の精度向上に向けた取組を進めること

3 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの推進

直轄による千曲川本川の改修・遊水地・ダム再編事業の促進と、関連する県の河川関連事業の予算を確保するとともに、県、市町村が取り組む流域対策やソフト対策への支援を実施すること

4 TEC-FORCE・MAFF-SATや権限代行による地方公共団体への支援強化

今後もTEC-FORCEやMAFF-SATの派遣や国による権限代行などを通じて地方公共団体の災害復旧を全面的に支援できるよう、地方整備局及び地方農政局の定員・体制を継続的に拡充・強化すること

5 災害査定における採択基準の緩和

気象条件等から国庫負担法の対象外の災害箇所も、被災の規模や状況により国庫負担法の対象にできるよう採択基準の緩和を図ること